

様式第72号（副産物要綱11条第3項関係）

参考様式2（第11条関係）

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画

建築工事中において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について												再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用			減量化 減量法 コード*11 小数点第三位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量		
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで		小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで											
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000	トン	0 %
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000	トン	0 %
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン	トン			
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	建設発生木材B (立木、散材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン			搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	建設汚泥	0.000	トン	トン		トン	搬出先1					km		トン	トン	0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン	トン			
	金属くず	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	廃石膏ボード	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
建設発生土	紙くず	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン				搬出先1					km		トン		0.000	トン	0 %
							搬出先2					km		トン				
	第一種建設発生土	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %
							搬出先2					km		地山m³	地山m³			
	第二種建設発生土	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %
							搬出先2					km		地山m³	地山m³			
第三種建設発生土	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %	
						搬出先2					km		地山m³	地山m³				
第四種建設発生土	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %	
						搬出先2					km		地山m³	地山m³				
浚渫土以外の泥土	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %	
						搬出先2					km		地山m³	地山m³				
浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000	地山m³	0 %	
						搬出先2					km		地山m³	地山m³				
合計	0.000	地山m³	地山m³	地山m³										0.000	地山m³	0.000	地山m³	0 %

コード*10
1.路盤材
2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却
2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨て場・残土処分場

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記)
・ 一般廃棄物は記入しないで下さい。
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。